

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010050

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	成人保健の充実	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	エキノコックス症検診		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	14	国保病院	
事業指標	検診受診率			#N/A		
事業目標	30%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	有	検診の受診等の健康維持に資する行動の実践	関係例規・法令名	有	北海道エキノコックス症対策実施要領	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	北海道地方特有の感染症として検診による早期発見治療、感染予防に対する知識の普及を図る。	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	
	事業費(千円)	1,375	275	275	275	275	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,375	275	275	275	275		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	845	193	146	182	194	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	845	193	146	182	194		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診9回 受診者数 125名 個別検診 受診者数 54名 受診率 20.1%	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診9回 受診者数 85名 個別検診 受診者数 51名 合計 133名 受診率 14.9%	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診7回 受診者数 120名 個別検診 受診者数 47名 合計 167名 受診率 18.8%	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診7回 受診者数 113名 個別検診 受診者数 41名 合計 154名 受診率 17.3%	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診8回 受診者数 69名 個別検診 受診者数 42名 合計 111名 受診率 13.1%	
		※事務事業評価結果 B－継続/現状維持	※事務事業評価結果 B－継続/現状維持	※事務事業評価結果 B－継続/現状維持	※事務事業評価結果 B－継続/現状維持	※事務事業評価結果 B－継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	30%	30%	30%	30%	30%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	70%	53%	66%	71%	47%
	全体達成率	14%	25%	38%	52%	61%	
	備考欄						

事業名	エキノコックス症検診	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	小野 美和

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	小学3年生以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	検診受診率		
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険がある。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	エキノコックス症の感染を早期に発見し適切な対応ができる。		① 検診受診率	目標年度	平成29年度
				目標値	30%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	エキノコックス症を早期に発見することで健康障害を予防することができる。	② 検診受診率 (前年度比)	実績値	13.1%	
			達成度	43.7%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	検診の実施	集団及び個別検診を実施した。			
	二次検診の調整	二次検診対象者の整理と、北海道が実施する二次検診の周知・日程調整等を必要に応じて実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	北海道エキノコックス症対策実施要領により市町村の検診実施が義務付けられている。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	検診は5年毎対象であり、年度により受診者数、率の差異があるが、地域の感染症対策として有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診等と同時実施することで効率的に行うことができている。また、医療機関の協力により職域検診受診者へ受診勧奨を実施し効率性を高めることができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広報やホームページ等で広く周知を実施し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>		
各種健診との同時実施により受診者数を維持している。今後も積極的な周知啓蒙など目標達成に向けた取組が必要である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
受診者数の向上を目指し、周知方法の工夫をはかりながら事業を実施する。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止